

高安伸子

今回の報告は前回に引き続き、主資料として明治学院大学図書館所蔵の *The Christian Movement in Japan* と *The Christian Movement in the Japanese Empire* を使用し、諸外国のプロテスタント・ミッションが韓国に派遣した宣教医についてを考察するものである。The *Christian Movement in Japan* と *The Christian Movement in the Japanese Empire* は日本で活動していたキリスト教団の年鑑であり、同じ年鑑であるが一九一五(大正四)年から *Japan* ではなく *Japanese Empire* とされた。明治学院大学図書館には一九〇七(明治四〇)年の第五巻より一九六〇年代に発刊されたものまで所蔵されている。

この年鑑には、その年の各ミッション共通の宣教上の

問題についての特集や各ミッションが独自に行った活動の報告などが収録され、巻末にはディレクトリも付けられている。一九一〇(明治四三)年に日韓併合が行われて以後、これらの資料に韓国における医療伝道の記事が多く掲載されるようになった。その経緯については前回の総会において報告したが、一九一二(大正元)年以降より特におおく韓国における医療伝道、医療活動の記事が掲載されるようになり、のちには日本、韓国、台湾の三カ所における各ミッションの活動を収録するようになった。

演者は、この資料の巻末に収録された日韓併合期に韓国へ派遣された各ミッション所属宣教師についてのディレクトリに注目し、その中に含まれる宣教医リストの作成を試みている。その調査及び整理作業を現在も継続中である。The *Christian Movement* に収められたディレクトリは何年にもわたり、年々韓国に派遣された宣教師および宣教医の数も増加しているため、資料の整理作業はまだ初めの段階であることをお断りしておきたい。

現段階においては、ディレクトリの中から M. D. M.

B.あるいはD.F.の記載のある人物を抜き出し、所属ミッション、韓国へ到着した年号、赴任場所、性別についてを集計することを中心に整理作業を行っている。また、かつて日本にも宣教医として赴任したことのある人物であるかどうかという点も重要な要素として長門谷洋治による来日宣教医リストとの比較を行う予定である。その次の段階としては、かれらの任地における活動や滞在年数などについても追跡を行い、なるべく正確な韓国に派遣された宣教医リストの作成ができるよう調査および考察を進めていきたいと考えている。

現段階で判明している一九一〇(明治四三)年の日韓併合以前に韓国に派遣された宣教医についての概略は次の通りである。

- ・宣教医総数 三二名
- ・所属ミッション別宣教医数
 - 北部長老教会 九名
 - 南部長老教会 四名
 - 北部メソジスト監督教会 七名
 - 南部メソジスト監督教会 五名

- カナダ長老教会 二名
- オーストラリア長老教会 一名
- セブンズデー・アドベンチスト 一名
- 独立 一名
- 不明 二名
- ・主な派遣都市(二名以上)
 - ソウル 五名
 - ピョンヤン 四名
 - ウォンサン 二名
- ・着任年度
 - 一八八六年から一八九九年まで 一三名
 - 一九〇〇年から一九〇八年まで 一三名
 - 不明 六名

最多着任年度は一九〇八年で五名が着任
(順天堂大学医学部医史学研究室)